

(様式第4号)

上田市林業振興協議会 会議概要

1 審 議 会 名	上田市林業振興協議会
2 日 時	平成29年2月2日 午後2時00分から午後4時15分まで
3 会 場	上田市森林センター 2階 会議室
4 出 席 者	関会長、倉沢副会長、飯田委員、大久保委員、土屋委員、中嶋委員、矢島委員、芳澤委員、大川委員、大塚委員、大平委員、金井委員、酒井委員、桜井委員、高橋委員、井出委員、中村委員、西澤(一)委員、西澤(節)委員
5 市側出席者	保科農林部長、高見澤森林整備課長、宮沢森林整備担当係長、茅野森林整備担当係長、町田森林整備担当主査、横林森林整備担当主査、村岡森林整備担当主事
6 公開・非公開	☒ 公 開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍 聴 者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成29年2月13日

協 議 事 項 等

1 開 会 (茅野森林整備担当係長)
2 あいさつ (保科農林部長) (関会長)
3 協議事項 (1) 上田市森林整備計画の変更(案)について ・ 資料に沿い、茅野森林整備担当係長から概要を説明 (会 長) 今回の鳥獣害防止森林区域の設定にあたり、対象とされる鳥獣は「ニホンジカ」のみか。 (事務局) 今回は特に林業被害の大きい「ニホンジカ」について区域を設定した。今後、他の動物による被害が発生すれば対応していく。 (委 員) 「ニホンジカ」による林業被害はどれくらいか。また、千曲川左岸に被害が集中している理由は何か。今後、千曲川左岸から千曲川右岸へ被害が広がってくることも想定できるのか。 (事務局) 林業被害は、把握している限りでは平成27年度は538,000円であった。 「ニホンジカ」の生息域は南から北へ徐々に広がってきており、特に千曲川左岸(美ヶ原高原付近)に生息数が集中している。積雪が多い地域では越冬できない個体もいるため、比較的積雪の少ない千曲川左岸で増加していると考えられる。 千曲川右岸は近年生息数が増加傾向にあり、これに伴い被害が広がっていくことが想定される。 (委 員) 今回の区域設定の根拠である森林生態系多様性基礎調査は、何年おきに実施されているのか。 (事務局) 林野庁が5年間で全国を一巡するサイクルで行っており、平成11年度から実施している。 (委 員) 補殺された「ニホンジカ」は、山に穴を掘って処分していると聞いた。処分方法について地元や山林所有者から反対の声があるらしいが、どのようにしているのか。 (事務局) 処分については、捕獲した猟友会の方をお願いしている。自家消費は一部で、ほとんどが埋設処分となっている。上田地域では地元の方の了解を得て埋設処分場を確保している。真田地域は捕獲頭数が少ないためほとんどが自家消費である。武石地域は捕獲頭数が多いことから、去年の秋までは、市有林に穴を掘って埋めていたが今はストップしている。 (委 員) 平成27年度の被害額が538,000円は少ないように感じる。被害とはどういうものか。 また、どのように算出しているのか (事務局) 毎年、森林組合等から聞き取りを行い県へ報告している。剥皮もあるが、主に幼齢木の食害が報告されている。 (会 長) 被害額の算出は実際には難しい。関係機関に聞き取りを行うしかない。

- (委 員) 今回設定されている区域は被害が大きいところを中心である。被害が発生していない場所も区域に設定して被害を未然に防ぐことも大事ではないか。
- (事務局) 今回は森林生態系多様性基礎調査に基づき区域設定を行った。今後被害が予想される地域は何もしないわけではなく、被害が出ればその都度計画の変更を行っていく。
- (委 員) 区域を広げるだけでなく、区域を外してもよくなった場合は計画の変更を行っていくのか。また、今回の区域設定に係わり、鳥獣被害対策、林業被害対策に予算を拡張していくのか。
- (事務局) 区域の設定変更には信頼性のあるデータが必要であるが、そのようなデータがあれば区域の変更は随時行っていく。
- 区域内での対策については、重点的に実施していきたい。区域設定するということは、「山林所有者等が植林等をする場合に、対策を行わなければ造林が難しい場所である」ということを市が定めたということであり、施業を行う場合の指標となる。
- (委 員) 区域に設定されているか否かによって、実際に被害が発生した場合に補助金が出る、出ない、の不公平が生じるのではないか。
- (事務局) 計画の中で設定区域外の被害、対象鳥獣(ニホンジカ)以外の被害についても対策を講じていくと定めている。
- (委 員) 区域内の山林所有者が対策を行った場合、補助金が出るのか。
- (事務局) 補助要件等あるため一概に言えないが、忌避剤の塗布や森林防護柵の設置に対する補助はある。
- (委 員) 忌避剤もそうだが林業に係わる資材の購入価格が非常に不明瞭、購入しやすい価格や販売ルートを作っていく必要があるのではないか。
- (事務局) 国の会計検査では、忌避剤ではいが別の薬剤の購入ルートや価格等を調査していた。今後、国からの指導で変わってくるのではないかと思われる。
- (委 員) 猟友会員の数が減っているように思う。猟友会に入る方を増やしていくことが重要だと思う。
- (事務局) 上田市で約 200 名の方が猟友会に加入されているが、新たに加入する人は少なく、また高齢者が多い。市でも狩猟免許の講習代や銃の所持許可に係る費用の助成を行い、猟友会への加入を進めている。

○協議結果：委員全員の賛成により承認

(2) 報告事項について

- ①平成 28 年度森林整備課における事業実績について
 - ②平成 29 年度当初予算における森林整備課の主な施策について
 - ③松くい虫防除対策事業について
 - ④有害鳥獣駆除対策事業について
 - ⑤林道橋梁長寿命化事業について
 - ⑥森林認証制度について
 - ⑦森林整備にかかる国・県の動向について
- ・資料に沿い、事務局から概要を説明

(委 員) 先ほどの協議事項の内容について、平成 29 年度予算にはどの程度反映されているのか。

(事務局) 平成 29 年度予算には反映されていないが、有効な予算執行を検討していきたい。

(委 員) 木を 1 本切るのに伐採届が必要か。緩和できないか。

(事務局) 伐採届は森林法で定められており、その山の主林木を切る場合には 1 本でも届出が必要となる。主林木以外の「除伐」は不要である。主林木は森林簿に記載されている。

(委 員) 前回もお話ししたが、武石地域にあるチップーをお借りできないか。

